

令和5年5月14日(日)

花まつり

白象に健康を願い
お釈迦様のお誕生日を
お祝いしましょう!

午後13時00分～ 令和救世観音開眼法要
福島県大正寺御住職 本田大助

午後13時30分～ 花まつり法要

時節柄、お食事を用意しておりません。
※お食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

ご来場される皆様へ

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。
・エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。

外会場に出店出店予定です。

道のしるべ

宮の森 大乘院

令和五年
春号

大乘院寺報 令和5年4月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-13
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail yakuou@triton.ocn.ne.jp

第91号

有為転変

住職 田中清元

春

到来です。今年はこのほか待ち遠しかった春の訪れです。この三年間余り、せつかく春を迎えても、コロナ禍に伴う不況や外出禁止などで我慢の春が続きました。

しかし、今年の春は違います。一番大きいのは、新型コロナウイルスが、警戒難度2類から5類に引き下げられることです。誰もがインフルエンザ並みの基準に開放されることで、私たちが苦しめた規制がほぼ消えます。

マスクは原則解禁、互いの往来、旅行、大規模なイベントや学校行事も自由に。そう、コロナ禍以前に戻ります。観光北海道にとって大切な国内外の観光客もどっと増えるでしょう。ここ数年の我慢、忍耐から一挙に解放されるのです。

そして今年の春の到来は、かつてなく早くなりそうです。春と云えばさくら。今年の札幌の開花は四月十五日。平日日の五月二日どころか、過去最速の四月二十一日(平成二十年)を超える新記録となりました。

勿論、地球温暖化の影響もあるようですが、この際、無粋な解説は遠慮したい。私たちは、余りに過酷な数年間を耐えてきました。家族や友人の不幸、経済破綻などなど、人類史上に残る災厄に見舞われたのです。長い人生では、常に順風満帆はあり得ません。艱難辛苦との繰り返しです。山あり谷あり、そして苦の後には楽が来ます。今年の早い春

の訪れは、耐え忍んできた人々に、お釈迦様が「よく頑張ったね。少しでも早く明るさ楽しさを」とご配慮してくれたのかも知れません。さくら満開、花吹雪に身を委ねると、きっとそんな境地に浸るでしょう。

コロナ解禁の五月八日はお釈迦様の誕生日でもあり、「花まつり」としてお祝いします。お釈迦様の誕生は諸説ありますが、紀元前五四四年ですから、今年で生誕二五八九年になります。その誕生日も、北海道や関西では五月八日なのに、関東は四月八日です。仏教国タイやスリランカでは二月十五日などなど国や地域によって異なります。これは太陽暦や旧暦、大乘と小乗仏教の違いによるものですが、当のお釈迦様は苦笑いされているかも。

仏教にお花は不可欠なものです。薫風の中、一斉に花開く北海道にとって、五月八日のお釈迦様誕生日は、昔から最適な設定でしょう。先達に感謝。

ちなみに、本院の「花まつり」は五月十四日(日)に開きます。お子様を含めた皆様、より暖かくよりゆとりのあるひと時を、この想いからです。

春到来——さあ、蠢動の時です。花まつりを契機に、積年の辛苦から脱却し、笑顔と共に明るく元氣な歩みを進めましょう。

合掌



活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

空手教室

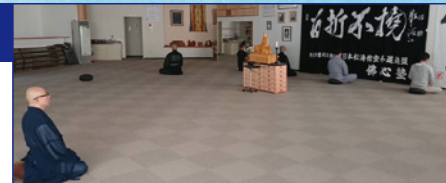
心と体を鍛えましょう
毎週月・木・土曜日
午後5時より お寺



共に心と体を鍛え「自分力」を磨きましょう!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。幼稚園のお子様から始められます。

坐禅会

体と心を調えましょう!
毎月1日・15日
午前7時より 参加無料



忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

ご詠歌

仲良く楽しく
唱えましょう
毎週金曜日
午後1時より 会費あり



ご詠歌を聞かれた事がありますか?亡き人への追憶の思いに涙があふれてきます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

ヨガ

心と体と向き合しましょう



呼吸とポーズを組み合わせるヨガは、心身をリラックスさせ、不調を整える効果があるとされています。

スキー少年団

心と頭と感性を磨きましょう



お寺では、住職の長女・亜実さんが指導するアルペンスキー少年団の指導も行っており、心と身体と感性を一緒に磨いてトレーニングに励んでいます。

護持会費納入について

いつもお寺におこころ寄せいただき感謝申し上げます。現在護持会費を口座振替にてご利用頂いている方は2025年(令和7年)より引き落とし月の変更が御座います。

2024年(令和6年)まで… 引き落とし月【8月】

2025年(令和7年)から… 引き落とし月【1月】

ご利用者様には大変ご迷惑をおかけ致しますがご理解下さいます様お願い申し上げます。

護持会費の未納につきまして

納骨堂やお墓の有無に関わらず、法事やお盆参りをご希望される方は護持会費を納めて頂く事が原則となっております。現在未納となっている方には順次ご案内を配送させていただきます。なお、今までお寺のご縁を頂いてから護持会費についてご存じない方、代替わりなどでシステムがわからなかった方で今年度も引き続きお盆参りや回忌など、お参りをご希望される方は未納分についてご相談させていただきますのでご連絡下さい。

※現在新聞(道しるべ)やお寺からの案内物がご自宅に届いてる方で、今後お盆のお参りや回忌のご予定の無い方は発送を中止致しますので合わせてご連絡ください。

葬儀トラブルを防ぐためには

お寺にお墓や納骨壇をお持ちにも関わらず、全く関係の無いお寺さんを紹介されるケース等が増えております。御檀家さんは菩提寺でお勤め頂く事が大前提となっておりますので、トラブルを未然に防ぐためにも、もしもの時が来たら先ずはお寺にご連絡下さい。また最近では家族葬のように小規模な葬儀をされる方が増えておりますが、実際にかかる費用は決して安くありません。(お寺への葬儀に関するご相談も金額について多く寄せられております。)お寺では精神面はもちろん、金銭面でもお支え出来るお寺葬をご用意しております。ぜひ一度、お寺へご相談下さい。

薬王寺も協賛しています



「SDGs」(エス・ディー・ジーズ)は「Sustainable Development Goals」(サステナブル<持続可能な>・ディベロップメント<開発>・ゴールズ<目標>)の頭文字を集めた言葉です。薬王寺では、SDGsの理念である「誰一人取り残さない社会の実現」を「菩薩の誓願に生きる信仰実践」として全僧侶でSDGsへの取り組みを力強く進めていきます。

編集後記

後生大事

日々勉強し知識を身に付ける中で、ゆえに失敗することが良くあります。

賢さがかえって邪魔になり、心不乱に物事に打ち込めていたはずが、気が付かない間に深く考える事が出来なくなる事があります。

どんな仕事でも後生大切な仕事として全身全霊で打ち込み精進することで、自然に、その人が持てる知恵を沸き仕事にも生きてくる。成功が失敗より尊いものが得られると感じています。

「好きこそ物の上手なれ」物ごとに没頭してとことん誠意をもつて取り組めば、おのずと道は開けてきます。

今を精一杯生きて、後生大事に物事に取り組んでいるのかを今一度見直していくのが、人生を豊かに深める第一歩になるよう精進してまいります。

院代 慎龍 合掌

花まつりとは



お釈迦様の誕生日4月8日のお祝いの行事で灌仏会(かんぶつえ)を多くの寺院が開きます。

桜の花が咲く時期に開催することから、「花まつり」と呼ばれる多くの皆さまに親しまれてきています。

花いっぱい「花御堂」にお釈迦様の誕生の姿を表した「誕生仏」が飾られ、その頭上から甘茶をかけてお参りしますが、この日に振る舞われた甘茶を飲むと、無病息災になるといわれています。灌仏会(かんぶつえ)の時に寺でいただいた甘茶を飲むと、病気をしなくなり、患部につけたり、塗ったりすると良くなる等とも言われています。そもそも



は、お釈迦様が生まれた時に、9匹の龍が甘露の雨を降らせて産湯にしたという伝説からで、お釈迦さまは生まれてすぐ7歩歩き、右手で天を、左手で地を指し、「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)」と宣言されました。これは「人はみなこの世に唯一、人だけであつて、何者にも変えられない。苦しむ人々を救うことを第一としよう」という宣言です。一人ひとりが互いを「救う」存在である、という仏教のまごころだと思えます。このほか、農村では、4月8日を「卯月八日(うづきようか)」と言い、1年間の農事が始まるこの時期に、山から神様を招来するための「めじろし」だと言われています。

今年も、新型コロナウイルスの収束に向かつている事もあり、中には、4年振りに開催する寺院も多いようです。ご先祖様から、いのちの尊厳を学ぶ機会として、コロナを越えた今こそ、花まつりの理念や行事の賑わいが社会にとって必要ではないかと思えます。

5月14日(日)は、大乘院薬王寺の花まつりに、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

令和5年5月14日

◆令和救世観音 開眼法要



令和救世観音の開眼法要を5月14日13時から花まつり法要の前に行います。仏法興隆・世界平和の大願を立て



られ、世界の百八ヶ所に寶篋印塔・五輪塔を寄贈されています。この度大正寺本田大助老師(福島県)の御紹介を頂き尊い仏縁にて北海道では当宮の森・薬王寺にて奉納されました。令和救世観音を御参りする人々が心をひとつにして、崇高な大願が成就出来まことを御祈念致します。

お寺のできごと

令和5年1月1日

除夜法要

本年も大乘院薬王寺では、御住職による大整第声より新年はじまります。厳しい冷え込みにも関わらず、多くの皆様が大整を突いていただき、ご参詣者の方々は新型コロナウイルス感染対策のご協力を以ってご参拝頂きました。



修証會

「修証會(しゅしょうえ)」新しい年の始まりにあたり最初に営まれる法要です。新しい二年間の世界平和や檀信徒皆様の厄災消除・仏法の興隆を祈ります。御住職のご導師のもと、修正會の御祈禱をお勧めいたします。

令和5年2月11日

大般若祈禱会

建国記念日の本日、当山恒例の大般若大祈禱会を厳修いたしました。新型コロナウイルス感染症対策として手指の消毒・マスクの着用・三密対策を行いました。先ずは山内にて積尊涅槃會法要(正当は2月15日)をお勤めを行い、次に、田中清元御住職の次男で芦別市大興寺の田中貫志御住職に御法話頂きました。



ました。御祈禱の際の願う大切やどう願うべきか等をご自身がお申込みされた御祈禱の裏話を交えお話し頂きました。その後、御住職の御導師により大般若祈禱会が始まり、当山田中清元導師より大般若理趣分を肩に頂戴し、無病息災・厄難消除・心願成就を願いました。最後に1年間御守りくださった古いお札・御守等の浄焚(お焚き上げ)供養を正面玄関前に於いてお勤め致しました。

本年も厳しい冷え込みにも関わらずたくさんの方に大整を突いて頂きました。参詣者の方々には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、手洗い、消毒などのご協力を以ってご協力頂きました。

令和5年1月14日

佛心塾 鏡開き

本日、佛心塾会長である田中清元老師が見守る中、鏡割りを行いました。御住職から仏教のことばである「感応道交」ということばを頂きました。仏のはたらきかけと、それを感じとる人の心が相交わり、合致することを意味します。教えるものと教わるもの、どういう意図をもって教えてくれているのか、それを感じて実践出来るよう精進する。佛心塾の子供たちだけではなく、まわりの保護者の方や僧侶一同に金言を頂きました。最後に父母の方々にご用意頂いた御餅料理をたくさんいただきました。今年も1年間笑顔で練習に励みましょう。



東日本大震災より今年で13回忌(12年)となる本日3月11日、田中基裕副住職のご導師により、東日本大震災慰霊法要を厳修しました。地震の発生の午後2時46分に黙

令和5年3月11日

東日本大震災慰霊供養

東日本大震災より今年で13回忌(12年)となる本日3月11日、田中基裕副住職のご導師により、東日本大震災慰霊法要を厳修しました。地震の発生の午後2時46分に黙



令和5年3月21日

春季彼岸会 中日法要

春彼岸中日法要を御住職・ご導師により、お勤めいたしました。新旧両本堂でそれぞれ施食供養を営みま



お盆期間中(8月)は、ご法事の繰り上げをお願いしております。四十九日法要はお勤めに上がりますが、お時間やご納骨についてはご相談させていただきますので、お早めにご相談ください。

8月に年忌法事にあたる方へ

八月の法事に伺えない日

- ◆ 棚経期間 ◆
1日 ~ 12日
- ◆ お墓参り期間 ◆
13日 ~ 16日
- ◆ 法要の日 ◆
20日

この日以外のご法事は、あらかじめ日時をご相談下さいますようお願い申し上げます。

【ご相談下さい】
新型コロナウイルスの影響で、ご法事をしたくても出来ないという方は、どうぞお寺までご相談ください。

お寺でお手伝い いただける方を 募集しています。



お寺の法要行事やお盆・春秋彼岸の御供物下げ、お掃除などをお手伝いをして下さる方々を募集しています。ご都合の良い時間だけでもかまいません。ご先祖様への御供養、自らの修練のため等、ご興味のある方は、お寺にご連絡お願い申し上げます。